

令和 8 年度 定 期 総 会

日時 令和8年6月25日（木） 午後3時00分～

場所 名張産業振興センターアスパア アスパアⅠ



定 期 総 会 次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 来 賓 祝 辞

4. 定足数の報告

5. 議 長 選 任

6. 議 事

第1号議案 令和7年度 事業報告について

第2号議案 定款の変更について

第3号議案 令和7年度 収支決算報告について
監 査 報 告

第4号議案 役員の改選について

第5号議案 令和8年度 事業計画（案）について

第6号議案 令和8年度 収支予算（案）について

7. そ の 他

8. 閉 会

令和 7 年度 事業報告（案）

令和 7 年度は、4 月より新体制での運営を開始し、名張市観光協会として改めて地域観光の推進体制を見直す一年となりました。観光案内、情報発信、イベント支援、会員サービス等の従来からの役割に加え、収益事業の強化、観光商品の造成、デジタル活用、会員事業者との連携強化など、観光協会が地域の観光を支える実務主体として、より幅広い役割を担う必要性が明確になりました。

また、観光地域づくり法人（DMO）登録を目指し、7 月及び 12 月の 2 回にわたり申請を行いましたが、いずれも不採択となりました。この結果を受け、単に申請書類を整えるだけではなく、観光地経営戦略に基づく KGI・KPI（目標指数）の共有、データに基づく効果検証、関係者との役割分担、PDCA の実績づくりが必要であることを改めて確認しました。

一方で、今年度は、真の観光地域づくり法人となるために、名張の観光が今後どの方向へ進むべきかを模索し始めた年でもあります。赤目四十八滝をはじめとする自然・歴史文化・食・体験資源を活かしながら、地域として自走できる観光の仕組みづくりに向け、会員事業者と相互に収益を生み出す事業の種まきや、周辺地域との観光連動を視野に入れた取組を進めました。

令和 7 年度は、DMO 登録に至ることはできなかったものの、名張市観光協会が今後担うべき役割と課題が明確になり、次年度以降の実質的な観光地域づくりに向けた土台を築く一年となりました。

I 公益事業及び名張市受託・公共的役割に関わる事業

1 名張市観光客誘致等事業委託

（1）観光案内所運営

名張駅前に「なばり観光案内所」を設置し、火曜日及び年末年始を除く年間 304 日において、常時スタッフ 1 名以上を配置して観光案内を行いました。窓口、電話、メール及び FAX を通じ、観光名所、宿泊施設、飲食施設、交通機関、イベント、キャンペーン等に関する問い合わせに対応しました。

項目	実績	内容
案内日数	304 日	火曜日・年末年始を除き開所
案内件数	2,078 件	窓口 1,880 件、電話・メール・FAX198 件

主な内容	キャンペーン・イベント 942 件	観光施設 526 件、飲食・物販 284 件、交通 158 件
公式 HP	252, 209PV	アクティブユーザー127, 835 人
SNS	Instagram 投稿 76 本ほか	ストーリーズ 115 本、Facebook48 本、X234 本

(2) 公式ホームページ管理・情報発信、SNS 情報発信

公式ホームページでは、お知らせ・ブログを年間 33 回更新し、桜だより、赤目四十八滝の入山規制、県道通行止め、花火大会、八日戎、ボランティアガイド募集、観光イベント等の情報を発信しました。年間ページビュー数は 252, 209PV となり、前年の 208, 905PV を上回りました。SNS では Instagram の発信を強化し、投稿 76 本、ストーリーズ 115 本を実施し、昨年のフォロワー数より 1, 000 人増加しました。Facebook48 本、X234 本を投稿しました。即時性の高い情報発信により、観光客への注意喚起、イベント告知、季節情報の提供に努めました。

(3) 観光誘客イベントの企画・実施

市内外で開催された観光誘客イベントに参画し、名張市の観光資源、地域産品、歴史文化、忍者・赤目四十八滝等の魅力発信を行いました。市外では「電車 de マルシェ in 大阪上本町駅」「日本忍者フェスティバル（大阪・関西万博）」「ENN JR 奈良イベント」「忍者現る！ヒーロー忍者祭り 2025 in 北御堂」「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」等に協力し、ツーリズム EXPO では諸外国の旅行エージェントとの商談及び三重県ブースでの名張市観光 PR を行いました。市内では、名張桜まつり、名張川納涼花火大会、隠 BALI BALI NABARI フェス、名張秋まつり、八日戎等に参画し、運営補助、広報宣伝、出店、問い合わせ対応等を行いました。

区分	内容
市外イベント	電車 de マルシェ、日本忍者フェスティバル、ENN JR 奈良イベント、忍者現る！ヒーロー忍者祭り、ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸
市内イベント	名張桜まつり、名張川納涼花火大会、隠 BALI BALI NABARI fes、名張秋まつり、八日戎
主な役割	企画運営参画、実施協力、ブース出展、広報宣伝、観光パンフレット配布、地域産品 PR

(4) プロモーションツール作成

「名張観光ガイド」を2,500部増刷し、案内所、市内観光施設、各種イベント等で配布しました。また、旧町エリアの散策を促す「旧町まち歩きマップ」を継続活用するとともに、名張駅周辺及び陣屋町エリアを対象とした「陣屋町おさんぽマップ」を用途別に企画・制作しました。飲食店等を起点に、歴史スポットや町並みを自然に巡る導線を設計し、滞在時間の延長と消費喚起を図りました。

(5) メディア対応

情報誌、ネット記事、報道機関等からの問い合わせに対応し、観光情報、イベント情報、地域資源に関する情報提供を行いました。年間実績は情報誌11件、ネット28件、報道10件であり、名張川納涼花火大会、八日戎等の情報発信にもつながりました。

(6) ボランティアガイド育成

観光ボランティアガイド「おきつも」との連携強化を目的に、月1回の定例会に継続して出席し、協会の広報方針、受入体制、ガイド依頼の調整等について情報共有を行いました。また、令和8年3月12日に大阪府太子町及び奈良県葛城市で現地研修を実施し、他地域の案内手法、接遇、解説技術を学ぶとともに、夏見廃寺と関連する歴史的知見の深化を図りました。

(7) その他

「三重へおいこないキャンペーン」

大阪・関西万博の開催を契機に、三重県内への誘客と県内周遊を促進することを目的とした三重県の観光キャンペーンとして、観光案内所にスタンプスポットを設置しました。期間中(2025年7月19日～2026年2月28日)は全県で6,820名が参加し、参加者の53.0%が宿泊を伴う周遊となりました。伊勢志摩47.4%につぐ、伊賀・名張方面20.8%であり、万博来訪者等を三重県内各地へ誘導し、名張地域への広域誘客にもつながったと考えられます。

「三重県×ミジュマル」スタンプラリーキャンペーン

県内全29市町の「ポケふた」やミジュマルゆかりの公共交通機関を巡る大型周遊イベントであり、スタンプの獲得数に応じて、オリジナルグッズや特産品等の賞品が当たる抽選に応募できる企画として実施されました。観光案内所にスタンプ設置場所を設けたことで、キャンペーン参加者を中心に多くの来訪者がありました。

名張駅西口 竹あかりライトアップ

赤目四十八滝で実施している「三重 赤目 滝あかり」を中心とした竹あかり事業を名張市全域へ広げる取組として、名張駅西口でライトアップを実施しました。三重大学及び中部電力株式会社との産学連携活動により学生が制作した「スタンド風竹

あかり」を展示するとともに、赤目竹あかり SDGs プロジェクトの協力を得て、駅前にあたたかな光とにぎわいを創出しました。

2 観光インフラ・受入環境維持業務

(1) 赤目四十八滝ハイキングコース管理業務委託

赤目四十八滝ハイキングコースについて、安全な通行を確保するため、原則月 1 回及び異常気象後の巡回点検を実施しました。年間 12 回の点検を行い、軽微な清掃、草刈り、枝払い、浮石・ゴミの確認等を行いました。倒木による通行支障が発生した際には、7 月 31 日及び 8 月 28 日に簡易復旧作業を実施し、年間を通じて利用環境の維持に努めました。

(2) 名張駅前（西口）公衆便所管理業務委託

名張駅前西口の公衆便所について、駅前を利用する観光客、市民、来訪者が安心して利用できるよう、日常的な清掃・衛生管理を行いました。観光案内所と連携しながら、駅前の受入環境を維持し、名張市の玄関口としての利便性向上に努めました。

II 補助金・業務委託事業

(1) 令和 7 年度デジタルアーカイブ利活用支援業務委託（ナウダツ）

名張市内の観光資源、風景、歴史文化、イベント等の写真素材を整理・活用し、観光 PR に活用できるデジタル資産を整備することを目的に実施しました。

本事業により、パンフレット、ホームページ、SNS、各種広報媒体等で活用できる写真素材の蓄積・利活用の基盤を整え、今後の情報発信力向上につなげました。

(2) Instagram を活用した情報発信業務委託（ナウダツ）

大阪・関西万博を契機とした関西方面からの来訪需要を見据え、Instagram 広告を活用して名張市の観光資源やアクセスの良さを効果的に発信し、認知拡大と誘客促進を図ることを目的に実施しました。

「名張市 1 泊 2 日プレゼント企画」を通じて広告配信を行い、リーチ数約 41,000 人、フォロワー増加 337 人、プロフィールアクセス 2,769 件、キャンペーン応募 298 件となり、SNS を活用した誘客施策として一定の成果を得ました。

(3) 名張市一般介護予防業務委託（名張市：地域包括支援センタープロポーザル）

「青蓮寺・赤目で楽しむ！介護予防プログラム」として、青蓮寺観光村や赤目四十八滝などの観光資源を活用し、高齢者の外出促進、健康維持、交流機会の創出を目的に実施しました。

作業療法士監修のもと、ぶどう狩り、ストレッチ、赤目四十八滝ハイキング等を段階

的に行い、参加者の歩行機能や外出意欲の向上、参加者同士の交流促進につながりました。

(4) 令和7年度名張市観光誘客推進業務委託（ナウダツ）

市内観光関連事業者の Google ビジネスプロフィール活用を促進し、Google Maps 等を通じた来訪促進、消費拡大、再来訪促進につなげることを目的に、観光事業者 DX 支援業務を実施しました。

ME0 dash を活用した Instagram と Google ビジネスプロフィールの連携支援、各事業者の管理権限設定や運用改善、口コミ対応のモデル事例の共有等を行い、市内観光事業者のデジタル発信力と誘客基盤の向上につなげました。

Ⅲ 収益事業

※会員サービス事業と重複する内容を含む

(1) キャンプ場運営事業 Lodge Akameto

旧赤目キャンプ場を引き継ぎ、最低限の井戸水ポンプ工事や備品の買い足し等を行ったうえで、令和7年11月に「Lodge Akameto」として運営を開始しました。

大規模な改修予算がない中での開業でしたが、11月から3月までの売上高は合計1,614,600円でした。前年比は月ごとの変動が大きかったものの、5か月平均で約111%となり、冬季を含む開業初年度として一定の利用実績を確保しました。

(2) 物販事業 mizuoto 赤目販売所・Lodge Akameto 販売所

赤目四十八滝自然歴史博物館1階のカフェ隣接スペースに、会員商品の販売を中心とした名張土産販売所「mizuoto 赤目販売所」を令和7年10月に開設しました。

年間売上は201,302円となり、赤目エリアを訪れる観光客に対して、名張市内事業者の商品を紹介・販売する新たな売場づくりに取り組みました。

また、12月からは同商品の一部をLodge Akametoの受付でも販売し、宿泊・キャンプ利用者向けの物販導線として、徐々に売場としての定着を図っています。

(3) ふるさと納税事務代行・商品企画サポート

会員事業者と連携し、ふるさと納税返礼品として活用できる地域産品の商品企画及び事務代行を行いました。令和7年度は新規商品企画38件を実施し、取扱売上は3,878,990円となりました。地域産品の販路拡大と、会員事業者の売上機会の創出につながりました。

(4) レンタサイクル

なばり観光案内所において、観光客や来訪者の市内周遊を促進するため、レンタサイクルの貸出を行いました。令和7年度は34件の利用があり、売上は129,500円となりました。駅前を起点とした市内回遊や観光利便性の向上につながりました。

(5) お菓子食べ歩き・やしんぼセットの終了

「お菓子食べ歩き」については、事業者、観光協会、利用者のいずれにとっても十分な利益や利便性を生み出しにくい事業であったため、令和7年度をもって終了しました。

また、「やしんぼセット」については、mizuoto 赤目販売所での会員商品販売が開始されたことにより、名張土産の販売導線をそちらに集約する形とし、事業を終了しました。

IV 会員支援・会員サービス

名張市観光協会の会員支援・会員サービスは、会員事業者の情報発信、販路拡大、観光客への紹介機会の創出を目的に実施しました。会員商品の販売、ふるさと納税支援、情報発信、商談・イベントPR、個別相談対応等を通じて、会員事業者との連携強化に努めました。

(1) mizuoto 赤目販売所での物販・お土産物販売

会員商品の販売機会を創出する取組として実施しました。

(2) Lodge Akameto での物販・お土産物販売

宿泊・キャンプ利用者に向けた会員商品の販売導線として実施しました。

(3) ふるさと納税事務代行・商品企画サポート

会員事業者の商品をふるさと納税返礼品として活用できるよう、事務代行や商品企画のサポートを行いました。地域産品の販路拡大と、会員事業者の売上機会の創出につなげました。

(4) 江戸川乱歩生誕地ミュージアムサポート

江戸川乱歩生誕地ミュージアムに関する運営・情報発信等について、必要に応じた支援を行いました。

(5) Google Maps DX 事業

Google ビジネスプロフィール等の活用を通じ、会員事業者のデジタル上での情報発信力向上を支援しました。

(6) 会員 LINE グループでの情報共有

会員 LINE グループを活用し、補助金情報、メディア掲載・取材情報、イベント出展案内等を随時共有しました。会員事業者が活用できる情報を迅速に届けることで、事業機会の拡大を図りました。

(7) SNS・ホームページでの会員情報発信

観光協会公式 SNS やホームページを活用し、会員事業者の商品、店舗、サービス、イベ

ント情報等を発信しました。観光客や地域住民に向けて、会員事業者の認知向上と来店・利用促進につなげました。

(8) 商談会・イベントでのPR

観光商談会や市内外イベントにおいて、名張市の観光資源とあわせて会員事業者の商品・サービスを紹介しました。観光事業者、旅行会社、関係機関等へのPRを通じて、会員事業者の販路拡大と連携機会の創出を図りました。

(9) 個別相談対応

会員事業者からの相談に応じ、情報発信、商品造成、販路開拓、観光客対応等について個別に対応しました。事業者ごとの課題や状況に応じた支援を行い、会員サービスの充実に努めました。

(10) ads.FM

会員事業者の情報発信支援として実施していましたが、令和7年度をもって終了しました。

V 観光地域づくり法人（DMO登録に向けた）事業

名張市観光協会では、観光地域づくり法人（DMO）登録を目指し、観光地経営戦略の整理、KGI・KPIの設定、関係者との協議体制づくりに取り組みました。令和7年度はDMO登録申請を2回行いましたが、いずれも不採択となり、今後は申請書類の整備だけでなく、地域としての実績づくり、データに基づくPDCA、関係者との役割分担の明確化が課題として整理されました。

(1) DMO登録申請

観光地域づくり法人への登録を目指し、名張市観光協会を中心に申請書類の作成、観光地経営戦略の整理、事業計画・KPI等の検討を行いました。

年度内に2回申請を行ったものの不採択となり、観光地経営戦略、データ収集・分析、実行体制、PDCAの実績づくりをさらに強化する必要があることを確認しました。

(2) ワーキンググループ・戦略会議体の運営

DMO登録に向けた地域マネジメント体制の構築を目的に、関係者によるワーキンググループ・戦略会議体を設置し、計2回の会議を実施しました。

会議では、名張市の観光地経営の方向性、観光資源の磨き上げ、収益事業、会員事業者との連携、KGI・KPIの設定、今後の実行体制等について協議し、次年度以降の実質的なDMO運営に向けた土台づくりを進めました。

令和 8 年 6 月 2 5 日

正会員、特別会員のみなさま

定款の一部変更について

一般社団法人名張市観光協会
理事会

1. 提案趣旨

本協会は、名張市における観光振興を目的として、観光宣伝、観光客の誘致促進、観光案内、観光ボランティアの育成・支援等の事業に取り組んでまいりました。

近年、観光を取り巻く環境は大きく変化しており、観光情報の発信に加えて、観光客の具体的な来訪・滞在・消費につながる受入体制の整備が、より重要となっています。

特に、市内の宿泊、体験、交通、飲食、ガイド等を組み合わせ、来訪者にとって利用しやすい形で案内・販売につなげていくことは、地域内での観光消費の拡大や、市内観光関連事業者への送客支援の観点からも必要性が高まっています。

このような状況を踏まえ、本協会は、旅行業法に基づく旅行業者代理業の登録を受けました。

登録内容は、次のとおりです。

- ・ 登録番号：三重県知事登録旅行業者代理業 第 1051 号
- ・ 登録年月日：2026 年 3 月 16 日

つきましては、本協会が登録旅行業者と連携し、旅行業者代理業に関する事業を適正に実施していくため、定款第 4 条に定める事業の内容に「旅行業法に基づく旅行業者代理業に関する事業」を追加するものです。

なお、本変更は、本協会が自ら旅行業を営むことを目的とするものではなく、旅行業法上の登録を受けた旅行業者代理業者として、登録旅行業者のために旅行業務に関する代理業務を行い、地域の観光商品の流通、販売支援、受入体制の充実を図ることを目的とするものです。

2. 変更内容

定款第4条に、次の事業を追加します。

＞ 旅行業法に基づく旅行業者代理業に関する事業

これに伴い、定款第4条を次のとおり変更します。

<現行>

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 観光宣伝と観光客の誘致促進に関する事業
- (2) 観光客の受入れ案内に関する事業
- (3) 観光ボランティアの育成、支援に関する事業
- (4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

<変更後> (網掛け部を追加)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 観光宣伝と観光客の誘致促進に関する事業
- (2) 観光客の受入れ案内に関する事業
- (3) 観光ボランティアの育成、支援に関する事業
- (4) 旅行業法に基づく旅行業者代理業に関する事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

3. 期待される効果

本変更により、本協会は、登録旅行業者との連携のもと、市内観光関連事業者が提供する宿泊、体験、ガイド、飲食等のサービスについて、観光客に対してより具体的かつ利用しやすい形で案内・販売支援を行うことが可能となります。

これにより、観光客の利便性向上、市内観光関連事業者への送客促進、観光消費額の拡大、ならびに持続可能な観光地域づくりの推進に資することが期待されます。

4. 施行日

本定款変更は、定期総会の決議の日から施行するものとします。

以上、ご審議のうえ、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

貸借対照表

令和8年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,462,202	11,217,191	△ 7,754,989
未収金	3,669,239	2,249,529	1,419,710
前払費用	90,193	0	90,193
預け金	6,284	0	6,284
たな卸資産	299,260	269,856	29,404
流動資産合計	7,527,178	13,736,576	△6,209,398
2. 固定資産			
基本財産	0	0	0
特定資産	0	0	0
その他固定資産	2,878,717	3,378,717	△ 500,000
固定資産合計	2,878,717	3,378,717	△ 500,000
資産合計	10,405,895	17,115,293	△ 6,709,398
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,108,289	3,184,864	△ 76,575
未払法人税等	72,000	72,000	0
未払消費税等	482,400	76,700	405,700
預り金	106,867	142,662	△ 35,795
短期借入金	573,696	569,126	4,570
流動負債合計	4,343,252	4,045,352	297,900
2. 固定負債			
長期借入金	2,788,638	3,362,334	△ 573,696
固定負債合計	2,788,638	3,362,334	△ 573,696
負債合計	7,131,890	7,407,686	△ 275,796
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	3,274,005	9,707,607	△ 6,433,602
正味財産合計	3,274,005	9,707,607	△ 6,433,602
負債及び正味財産合計	10,405,895	17,115,293	△ 6,709,398

損益計算書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 会費				
会費収入	1,872,000	1,852,000	△ 20,000	正会員・賛助会員
特別会費収入	500,000	500,000	0	赤目四十八滝溪谷保勝会
①会費収入計	2,372,000	2,352,000	△ 20,000	
② 事業収入				
事業収入	24,496,100	21,552,649	△ 2,943,451	名張市より ・観光案内所運営 7,196,000 ・観光誘客推進 3,300,000 ・デジタルアーカイブ 1,900,000 ・名張駅前（西口）公衆便所管理 661,100 ・介護予防 544,500 ・インスタグラム 297,000 ・観光パンフ 55,000 青蓮寺湖ぶどう組合支援 4,084,377 キャンプ場 2,152,290 物販 1,307,932 観光ボランティア育成 44,400 旅行事業代理 10,050
②事業収入計	24,496,100	21,552,649	△ 2,943,451	
事業活動収入合計	26,868,100	23,904,649	△ 2,963,451	
2 事業活動支出				
① 管理費支出				
印刷製本費	30,000	73,031	43,031	コピーカウント料 他
給料手当	2,805,000	5,469,160	2,664,160	事務担当職員賃金 他
法定福利費	200,000	962,634	762,634	社会保険料、職員健康診断 他
広告宣伝費	0	30,800	30,800	協会広告 他
交際費	0	18,001	18,001	天正しぐれ供養、新年賀詞交換
会議費	0	17,897	17,897	事業打合
旅費交通費	0	449,310	449,310	通勤交通費、有識者招聘
通信費	0	498,003	498,003	Google、会計ソフト、会員向け郵便
消耗品費	320,000	35,750	△ 284,250	事務用品等
諸会費	220,000	171,900	△ 48,100	歴史街道、観光連盟、商工会 他
支払手数料	42,000	105,024	63,024	口座振込手数料 他
車両費	0	141,888	141,888	社用車車載機器、タイヤ
地代家賃	303,200	84,000	△ 219,200	駐車場
賃借料	0	20,742	20,742	理事会、総会会場
リース料	0	342,960	342,960	社用車
保険料	0	36,433	36,433	社用車
租税公課	450,000	504,226	54,226	消費税等
支払報酬料	525,800	3,227,001	2,701,201	顧問税理士、事務職員
減価償却費	45,000	0	△ 45,000	事業費に計上
管理費支出計	4,941,000	12,188,760	7,247,760	

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
② 事業費支出				
売上原価	7,710,000	3,311,881	△ 4,398,119	(ふるさと納税集計の変更)
研修費	0	48,930	48,930	資格取得等
印刷製本費	270,000	361,664	91,664	ガイドマップ、名刺
給料手当	9,185,480	4,315,251	△ 4,870,229	(人件費構造の変更)
法定福利費	2,300,000	412,041	△ 1,887,959	(人件費構造の変更)
外注費	1,269,000	1,373,110	104,110	単発の業務委託等
荷造運賃	0	11,343	11,343	やしんぼセット送料
広告宣伝費	30,000	377,183	347,183	新聞広告料、ウェブ更新 他
交際費	0	82,670	82,670	クレーム対応等
会議費	0	11,700	11,700	商品撮影
旅費交通費	500,000	191,773	△ 308,227	通勤交通費、出張旅費
通信費	347,200	441,136	93,936	電話・インターネット代 他
消耗品費	322,100	947,626	625,526	事業用消耗品、駅前トイレ消耗品 他
修繕費	0	310,200	310,200	キャンプ場ポンプ
水道光熱費	84,000	368,080	284,080	キャンプ場、イルミネーション
諸会費	50,000	51,320	1,320	L I N E、花火大会協賛
支払手数料	0	299,230	299,230	決済、申請
車両費	0	3,021	3,021	使用車ガソリン代
地代家賃	3,288,000	1,405,600	△ 1,882,400	案内所、キャンプ場
賃借料	0	1,940	1,940	介護予防事業会場
リース料	0	9,900	9,900	複合機再リース
保険料	30,000	31,475	1,475	ボランティアガイド、介護予防事業
租税公課	0	19,020	19,020	事業申請、契約印紙
支払報酬料	0	3,203,665	3,203,665	キャンプ場委託
減価償却費	455,400	500,000	44,600	事業費に統合
雑費	36,000	0	△ 36,000	
事業費支出計	25,877,180	18,089,759	△ 7,787,421	
経 常 費 用 計	30,818,180	30,278,519	△ 539,661	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,950,080	△ 6,373,870	△ 2,423,790	
当 期 経 常 増 減 額	△ 3,950,080	△ 6,373,870	△ 2,423,790	
2. 経常外増減の部				
経常外収益	0	178,284	178,284	IT導入補助金、受取利息
経常外費用	0	29,816	29,816	支払利息
当期経常外増減額	0	148,468	148,468	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,950,080	△ 6,225,402	△ 2,275,322	
法人税、住民税、及び事業税	200,000	208,200	8,200	
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	9,707,607	9,707,607	0	
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	5,557,527	3,274,005	△ 2,283,522	
Ⅱ 正 味 財 産 期 末 残 高	5,557,527	3,274,005	△ 2,283,522	

活動計算書

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位：円)

	当期	前期
I 経常活動区分		
経常収益		
受取会費	2,352,000	2,360,000
事業収益		
官公庁受託	13,953,600	11,411,400
ぶどう組合支援	4,084,377	2,961,609
キャンプ場	2,152,290	0
物販	1,307,932	894,276
観光ボランティア育成	44,400	24,400
旅行業者代理	10,050	0
行事協力	0	0
経常収益計	23,904,649	17,651,685
経常費用		
管理費	12,188,760	2,671,541
事業費		
官公庁受託	6,976,366	9,536,771
ぶどう組合支援	3,564,158	2,994,951
キャンプ場	5,558,925	0
物販	827,441	747,533
観光ボランティア育成	235,406	2,253,353
旅行業者代理	641,570	0
行事協力	285,893	628,925
経常費用計	30,278,519	18,833,074
経常収益費用差額	-6,373,870	-1,181,389
II その他活動区分		
その他収益	178,284	48,313
その他費用	29,816	0
その他収益費用差額	148,468	48,313
税引前当期収益費用差額	-6,225,402	-1,133,076
法人税、住民税及び事業税	208,200	72,000
当期収益費用差額	-6,433,602	-1,205,076

活動計算書の注記

(1) 財源区分別内訳

当協会の財源はすべて一般純資産に属する。

(2) 会計区分及び事業区分別内訳

(単位：円)

科目	収益事業等会計			
	官公庁受託	ぶどう組合 支援	キャンプ場	物販
経常収益	13,953,600	4,084,377	2,152,290	1,307,932
経常費用	6,976,366	3,564,158	5,558,925	827,441
当期経常収益費用差額	6,977,234	520,219	-3,406,635	480,491
その他収益	3,587	0	1	1
その他費用	29,816	0	0	0
その他収益費用差額	-26,229	0	1	1
税引前収益費用差額	6,951,005	520,219	-3,406,634	480,492
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0
当期収益費用差額	6,951,005	520,219	-3,406,634	480,492

(単位：円)

科目	収益事業等会計			法人会計	合計
	観光ボランティア 育成	旅行業者 代理	行事協力		
経常収益	44,400	10,050	0	2,352,000	23,904,649
経常費用	235,406	641,570	285,893	12,188,760	30,278,519
当期経常収益費用差額	-191,006	-631,520	-285,893	-9,836,760	-6,373,870
その他収益	0	0	0	174,695	178,284
その他費用	0	0	0	0	29,816
その他収益費用差額	0	0	0	174,695	148,468
税引前収益費用差額	-191,006	-631,520	-285,893	-9,662,065	-6,225,402
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	208,200	208,200
当期収益費用差額	-191,006	-631,520	-285,893	-9,870,265	-6,433,602

活動計算書の注記

(3) 事業費・管理費の形態別区分

(単位：円)

	収益事業等会計							法人会計	合計
	官公庁 受託	ぶどう組合 支援	キャンプ場	物販	観光ボラン ティア育成	旅行者者 代理	行事協力		
売上原価	2,206,800	421,650	105,679	577,752					3,311,881
研修費	12,000		5,200	15,000	4,400	12,330			48,930
印刷製本費	295,852		15,402	50,410				73,031	434,695
給料手当	1,176,915	2,634,336				504,000		5,469,160	9,784,411
法定福利費		334,172				77,869		962,634	1,374,675
外注費	750,600		218,310	4,000	200,200		200,000		1,373,110
荷造運賃				11,343					11,343
広告宣伝費	167,653	30,000	159,530	20,000				30,800	407,983
交際費				63,120			19,550	18,001	100,671
会議費			11,700					17,897	29,597
旅費交通費	20,293	144,000		10,440		17,040		449,310	641,083
通信費	323,123		118,013					498,003	939,139
消耗品費	138,312		731,889	62,865		14,560		35,750	983,376
修繕費			310,200						310,200
水道光熱費	64,719		287,018				16,343		368,080
諸会費	1,320						50,000	171,900	223,220
支払手数料	124,784		132,884	11,511	14,800	15,251		105,024	404,254
車両費	2,021			1,000				141,888	144,909
地代家賃	948,000		457,600					84,000	1,489,600
賃借料	1,940							20,742	22,682
リース料	9,900							342,960	352,860
保険料	15,469				16,006			36,433	67,908
租税公課	13,000		5,500			520		504,226	523,246
支払報酬料	203,665		3,000,000					3,227,001	6,430,666
減価償却費	500,000								500,000
合計	6,976,366	3,564,158	5,558,925	827,441	235,406	641,570	285,893	12,188,760	30,278,519

監 査 報 告

一般社団法人名張市観光協会定款第34条の規程により会計監査を行った結果、会計が正確であることを認めます。

令和 8 年 6 月 10 日

一般社団法人 名張市観光協会

監事 北村 泰弘 

監事 田 畑 博 

役員の改選について

下表のとおり、役員の改選と1名の監事が辞任したことにともない、下記の通り役員改選と監事選任をご提案いたします。

令和8年度 役員名簿（案）

役 職	氏 名	事業所、団体 等	選出母体
理 事	市橋 雅美	有限会社賛急屋	
理 事	伊藤 英次	有限会社手づくり農園	
理 事	川井 唯臣	Community-Based-Travel	
理 事	玖村 健史	（一社）名張市観光協会 事務局長 NPO 法人赤目四十八滝溪谷保勝会	観光協会 保勝会
理 事	大谷 英紀	丸福精肉店	
理 事	久保 博嗣	近畿日本鉄道株式会社	
理 事	雪岡 理道	青蓮寺湖ぶどう組合	ぶどう組合
理 事	坂元 恵美	名張市観光交流室長	名張市
監 事	田畑 博	株式会社メイハン	商工会議所
監 事	伊藤 幸子	ビジネス旅館 春日	

（順不同・敬称略）

※理事任期：令和8年7月25日～令和10年定期総会

監事任期：令和5年6月28日～令和9年度定期総会

令和 8 年度 事業計画（案）

令和 8 年度は、昨年度に準備し、種をまき始めた事業が芽を出し、小さな苗として育ち始める年度となります。これらの取組を着実に育てていくとともに、昨年度から準備を進めてきた新たな事業を具体的に投入し、名張市の観光地域づくりを一步前へ進める年とします。

名張市には、赤目四十八滝、青蓮寺湖、名張川、旧町、歴史文化、江戸川乱歩、忍者、食、自然体験、里山、農産物など、魅力的な観光資源が数多く存在しています。これらの資源を単に紹介するだけでなく、観光客が訪れ、体験し、購入し、滞在し、地域内で消費する仕組みへと転換していくことが必要です。

令和 8 年度は、観光案内、情報発信、イベント支援、会員サービス等の従来からの役割に加え、旅行代理業の機能を活用したツアー造成、体験商品の発掘・商品化、物販・EC 展開、駅前案内所の機能強化、会員事業者との連携強化、補助金・委託事業を活用した観光コンテンツの磨き上げに取り組みます。

また、観光地域づくり法人としての機能強化に向け、DMO 登録の可否にかかわらず、観光地経営に必要な実績づくり、データに基づく効果検証、関係者との役割分担、PDCA の実践に取り組みます。

名張の魅力を観光経済へと転換し、地域事業者とともに持続的に成長する観光地域づくり法人を目指して、本年度の事業を推進します。

I 公益事業及び名張市受託・公共的役割に関わる事業

1 名張市観光客誘致等事業委託

(1) 観光案内所運営

令和 8 年度は、従来の観光案内機能に加え、駅前案内所の機能強化を図ります。

- ・ 会員事業者商品の物販販売「mizuoto 名張駅前販売所」の開設
- ・ 竹あかり体験（有料）スペースの開設
- ・ レンタサイクル事業の再開
- ・ 一時荷物預かり（有料）の実施
- ・ 事務所機能の移転

※名張駅西口「H・A・P・P・Y Y・O・U さんきゅうや」のビル 2 階へ移転

(2) 公式ホームページ管理・情報発信、SNS 情報発信

令和 8 年度は、公式ホームページや SNS を活用し、観光客、市民及び会員事業者に向けた情報発信を強化します。

- ・ ホームページを改訂し、見やすく使いやすい導線を再設計します。

- 案内 AI 機能及び OTA 機能の追加を予定します。
- デジタルアーカイブストックサービス「NABARI PHOTO」の活用を促進します。
- 会員情報の発信を強化します。

(3) イベント・観光キャンペーン等への参画

会員及び市民の自主的な企画・提案事業に対し、観光協会として積極的に参画し、イベント等の開催を支援します。必要に応じて観光協会の共催又は後援事業として位置付けるとともに、会員の自主性を尊重し、非会員の賛同者も積極的に受け入れ、会員満足度の向上と新たな会員確保につなげます。

また、三重県、名張市、伊賀市、三重県観光連盟、東奈良名張ツーリズム・マーケティング、特定非営利活動法人赤目四十八滝溪谷保勝会等と連携し、観光キャンペーンやプロモーション活動を効果的に推進します。

観光誘客及び地域経済の活性化を目的として、名張川納涼花火大会、名張桜まつり等の各種イベントに参画します。

さらに、近畿日本鉄道株式会社、三重交通株式会社等の民間企業・団体が主催する事業と連携するとともに、観光誘客や地域活性化を目的とする市民団体、教育機関等との連携を図ります。

(4) プロモーションツール作成

観光ガイドマップ、パンフレット、ポスター、チラシ等を活用し、名張市の観光情報を発信します。既存資料の継続活用に加え、必要に応じて内容の更新や再編集を行い、ホームページや SNS と連動した紙・デジタル双方による情報発信を進めます。

(5) メディア対応

情報誌、ネット媒体、新聞、テレビ、ラジオ等からの問い合わせに対応し、観光情報やイベント情報を提供します。令和 8 年度も、花火大会、赤目四十八滝、青蓮寺湖、八日戎、名張旧町、乱歩関連事業、体験商品等の発信機会の拡大に努めます。

(6) ボランティアガイド育成

観光ボランティアガイド「おきつも」と連携し、まち歩き事業を継続します。定例会への参加、情報共有、依頼調整、研修機会の確保等を通じて、活

動を支援します。

(7) その他公共的役割に関わる事業

三重県や関係団体が実施する観光キャンペーン、スタンプラリー、広域周遊施策等に協力し、観光案内所を活用した誘客促進に取り組みます。

2 観光インフラ・受入環境維持業務

(1) 赤目四十八滝ハイキングコース管理業務委託

赤目四十八滝ハイキングコースについて、利用者が安全に通行できるよう、定期的な巡回点検、軽微な清掃、草刈り、枝払い、浮石・ゴミの確認等を行います。

(2) 名張駅前西口公衆便所管理業務委託

名張駅前西口の公衆便所について、観光客、市民及び来訪者が安心して利用できるよう、日常的な清掃・衛生管理を行います。

II 補助金・業務委託事業

(1) 名張市エコツーリズム推進協議会事務委託（名張市）

名張市エコツーリズム推進協議会の事務局業務を受託し、協議会の円滑な運営とエコツーリズム関連事業の推進を支援します。令和8年度は、赤目四十八滝、青蓮寺湖、名張川、里山、歴史文化等の地域資源を活用し、体験商品の造成やガイド育成につなげます。

(2) 地域活性化企業人黒田氏とのガイド育成・ツアー造成事業（名張市）

地域活性化企業人である黒田氏と連携し、名張市の歴史文化、自然、食、体験資源を活用したガイド育成及びツアー造成に取り組みます。令和8年度は、従来型の説明中心のガイドではなく、テーマ旅行を案内できる「ナビゲーター」の育成を進め、観光客に提供できる旅行商品づくりにつなげます。

- ・ 質問力、対話力、案内力を重視した人材育成
- ・ 神社、古墳、藤堂家、街道、人物・文化等をテーマとしたツアー案の造成
- ・ 造成したツアー案の中から1本を選定し、FAM・モニターツアーを実施
- ・ 旅行会社、宿泊事業者、観光関係者等を招いた意見収集

- 食事、物販、地域産品等を組み込んだ販売可能な旅行商品への磨き上げ
- 豊臣兄弟事業と連動した、藤堂家・名張藤堂家をテーマとする周遊、学び、御城印・記念印等の商品化の検討

(3) 観光庁観光需要分散のための地域観光資源のコンテンツ化促進事業（名張市）

観光庁の補助事業を活用し、赤目四十八滝溪谷を舞台に、滝壺ダイビングを核とした高付加価値な体験コンテンツの造成に取り組みます。室生赤目青山国定公園内の自然環境やオオサンショウウオ等の生態系を活かし、欧米豪を中心としたインバウンド層にも訴求できる商品づくりを進めます。

(4) 介護予防・平日おでかけ実践事業（名張市：地域包括支援センタープロボ）

名張市一般介護予防事業業務委託として、「外出をあきらめないための平日おでかけ実践クラブ」を実施します。名張市在住の高齢者を対象に、作業療法士等と連携した介護予防教室を行い、出かけるための身体づくり、転倒予防、外出不安の軽減に取り組みます。

あわせて、参加者同士が交流しながら市内の身近な場所へ出かける「小さなおでかけ実践」を行い、外出意欲と社会参加の促進につなげます。教室終了後は、趣味活動グループの立ち上げを支援し、事業終了後も継続的に外出や交流が生まれる仕組みづくりを進めます。

(5) 観光 DX 事業（名張市）

観光客の市内周遊を促進するため、デジタルマップや周遊促進ツール等の導入を検討します。あわせて、会員事業者の魅力発信やブランディングにつながるよう、Google マップ、SNS、ホームページ等で活用できる写真・動画・紹介文等の投稿素材の整備を進めます。

Ⅲ 収益事業

(1) Lodge Akameto 運営事業

旧赤目キャンプ場を引き継いで開始した「Lodge Akameto」について、令和8年度は本格的な運営強化を図ります。宿泊・キャンプ利用者の受入体制を整えるとともに、赤目四十八滝、滝あかり、ナイトツアー、リトリート、自然体験、食事、物販等と連携し、単なる宿泊施設ではなく、赤目エリアの滞在

拠点としての価値を高めます。また、施設の管理運営、予約対応、備品整備、安全管理、広報宣伝等を改善し、収益性と利用者満足度の向上を図ります。

(2) 駅前案内所での物販・竹あかり体験

令和8年度は、駅前案内所の機能強化の一環として、物販販売、竹あかり体験、mizuoto商品の展開に取り組みます。観光情報を提供するだけの場所ではなく、名張の土産品、特産品、体験コンテンツに触れることができる拠点として位置付けます。竹あかり体験については、赤目竹あかりSDGsプロジェクト等との連携により、名張らしい体験商品として企画・販売を進めます。

(3) 体験商品発掘・体験ツアー造成・商品化・販売

名張市内の自然、歴史文化、食、ものづくり、農業、川、山、忍者、乱歩等の地域資源を掘り起こし、観光客が購入・参加できる体験商品として造成します。赤目四十八滝、滝打たれ体験、ヨガ、瞑想、温泉、食、宿泊等を組み合わせたりトリートツアーについても、重点商品として磨き上げます。

会員事業者や地域団体と連携し、価格設定、予約受付、販売導線を整備し、OTA、地旅、観光協会ホームページ、案内所等での販売を進めます。

(4) 旅行代理業の運用

令和7年度に取得した旅行代理業の機能を活用し、令和8年度は具体的な旅行商品造成及び販売に取り組みます。市内の体験事業者、宿泊事業者、飲食事業者、交通事業者等と連携し、名張市内での滞在・消費につながる旅行商品を造成します。近鉄、旅行会社、OTA等との連携も視野に入れ、販売体制の構築を進めます。

(5) 小売酒類販売・物販事業

小売酒類販売の仕組みを活用し、会員の酒類、特産品、土産品等の販売機会を拡大します。mizuoto赤目販売所、Lodge Akameto、駅前案内所、将来的なECサイト等を組み合わせ、観光客が名張の商品を購入できる導線を整備します。

(6) mizuoto 赤目販売所・Lodge Akameto 販売所

mizuoto 赤目販売所及びLodge Akameto 販売所において、会員商品を中心と

した名張土産の販売を継続し、赤目エリア来訪者への地域産品の紹介・販売導線を強化します。

(7) ふるさと納税事務代行・商品企画サポート

会員事業者と連携し、ふるさと納税返礼品の商品企画及び事務代行業を継続し、地域産品の販路拡大と会員事業者の売上機会創出につなげます。

(8) レンタサイクル

なばり観光案内所においてレンタサイクルの貸出を継続し、駅前を起点とした市内周遊の促進と観光利便性の向上を図ります。

IV 会員支援・会員サービス

名張市観光協会の会員支援・会員サービスは、会員事業者の情報発信、販路拡大、観光客への紹介機会の創出を目的として実施します。令和8年度は、会員であることのメリットをより明確にし、観光協会の事業と会員事業者の売上、送客及び連携を結びつける取組を強化します。

(1) 滝割事業（7月18日より実施）

令和8年度の新規事業として、赤目四十八滝への来訪者を市内事業者へ誘導する「滝割事業」に取り組みます。赤目四十八滝の入山者チケットの提示により、市内飲食店、土産店、体験施設、宿泊施設等で利用できる特典や割引を提供することで、赤目エリアから市内各所への回遊を促し、観光消費の拡大を図ります。観光協会と赤目四十八滝渓谷保勝会が連携し、参画事業者の募集、情報整理、デジタルチラシ等による広報、プレスリリース、SNS発信等を行います。

(2) 近鉄 乱歩×清風亭ツアー（6月15日予約受付開始）

令和8年度の新規事業として、近畿日本鉄道株式会社等と連携し、江戸川乱歩生誕地ミュージアム及び清風亭を組み合わせたツアー造成に取り組みます。名張旧町の歴史文化、乱歩ゆかりの地、食、まち歩き等を組み合わせ、鉄道利用者を名張へ誘導する着地型商品として企画します。名張駅を起点とした回遊導線を整え、旧町エリアの滞在時間延長と消費喚起につなげます。

(3) 物販 EC サイト

令和 8 年度は、会員事業者の商品や名張市の特産品を販売する物販 EC サイトの構築を検討します。mizuoto 赤目販売所、Lodge Akameto、駅前案内所で販売する商品と連動し、現地での購入に加えて、来訪後の再購入や遠方からの購入につながる販売導線を整備します。会員事業者の販路拡大と観光協会の収益事業の強化を図ります。

(4) mizuoto・Lodge Akameto での物販・お土産物販売

mizuoto 赤目販売所、駅前販売所及び Lodge Akameto、での物販・お土産物販売を継続し、会員商品の販売機会を拡大します。赤目エリアや名張駅を訪れる観光客、Lodge Akameto 利用者に対し、名張市内事業者の商品を紹介・販売することで、地域産品の認知向上と会員事業者の売上機会創出につなげます。

(5) ふるさと納税事務代行・商品企画サポート

会員事業者の商品をふるさと納税返礼品として活用できるよう、事務代行や商品企画のサポートを継続します。地域産品の魅力を整理し、返礼品としての見せ方、商品構成、写真、説明文等の改善を支援することで、会員事業者の販路拡大と名張市の魅力発信につなげます。

(6) 江戸川乱歩生誕地ミュージアムサポート

江戸川乱歩生誕地ミュージアムに関する情報発信、観光案内、ツアー造成等について、必要に応じて支援を行います。乱歩関連資源を名張旧町の観光コンテンツとして位置付け、体験、まち歩き、飲食店等との連携を進めます。

(7) 観光 DX 事業

会員事業者の情報発信力向上と送客促進を図るため、Google マップ、SNS、ホームページ等で活用できる写真・動画・紹介文等の投稿素材の整備を支援します。あわせて、デジタルマップや周遊促進ツール等を活用し、会員店舗・施設への回遊につながる導線づくりを進めます。

V 観光地域づくり法人事業

(1) 観光地経営戦略の整理

名張市の観光が目指す方向性を整理し、赤目四十八滝、青蓮寺湖、名張旧町、乱歩、忍者、自然体験、食、宿泊、物販等をどのように組み合わせ、観光消費につなげるかを検討します。KGI・KPIを設定し、入込客数、観光消費額、宿泊者数、体験商品販売数、会員事業者の参画状況等を把握しながら、観光地域づくりの実効性を高めます。

(2) ワーキンググループ・戦略会議体の運営

観光地域づくりに関わる会員事業者、行政、関係団体、交通事業者、宿泊・飲食・体験事業者等と連携し、ワーキンググループや戦略会議体を運営します。会議では、観光資源の磨き上げ、旅行商品造成、会員事業者との連携、データ共有、収益事業、広域連携等について協議し、名張市全体で観光地域づくりを進める体制を整えます。

(3) 実質的な観光地域づくり法人機能の強化

令和8年度は、観光協会が地域の観光を支える実務主体として、観光案内、情報発信、商品造成、販売促進、会員支援、広域連携、データ活用等を一体的に進めます。DMO登録の可否にかかわらず、名張市観光協会が地域全体の観光地経営を担う組織として機能できるよう、事業の実行力と収益基盤の強化を図ります。

(4) KGI・KPIの共有と今後の検証体制

DMO登録に向けては、申請書類の整備だけでなく、観光地経営戦略に基づく目標数値を関係者で共有し、その進捗を継続的に検証していきます。

そのため、令和8年度においては、観光地経営戦略で設定したKGI・KPIの実績値及び目標値を理事会及び名張DMOワーキンググループ等で共有し、達成状況、課題、改善策を確認していきます。

年間4回程度、KPIの達成状況を確認し、必要に応じて事業内容、情報発信、商品造成、会員支援等の見直しを行うことで、次回DMO申請に向けたPDCAの実績づくりを進めます。

【参考資料】 KGI・KPI一覧

■ KGI：重要目標達成指標

指標	単位	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	令和9年度 目標	令和10年度 目標	令和11年度 目標
旅行消費額	百万円	7,446	6,306	未定	7,446	7,500	7,550	7,600
経済波及効果	百万円	7,780	6,589	未定	7,780	7,837	7,889	7,941

■ KPI：重要目標達成指標

指標	単位	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	令和9年度 目標	令和10年度 目標	令和11年度 目標
1人あたり旅行消費額	円	15,808	13,550	11,027	14,000	14,500	15,000	15,500
延べ宿泊者数	千人	81	80	未定	85	90	91	92
インバウンド延べ宿泊者数	千人	1	2	2	4	5	6	7
来訪者満足度	%	87	82	未定	90	90	90	90
持続可能な観光に対する住民満足度	%	—	22	未定	35	40	45	50
月別来訪者数の平準化率	%	86	84	未定	90	91	92	93

※令和7年度実績についてはデータが揃い次第算出いたします。

令和8年度 収 支 予 算 (案)

令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日

(単位：円)

科目	令和7年度予算	令和7年度実績	令和8年度予算	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 会費				
会費	1,872,000	1,852,000	1,852,000	正会員 130名 賛助会員 4名
特別会費	500,000	500,000	500,000	赤目四十八滝溪谷保勝会
会費収入計	2,372,000	2,352,000	2,352,000	
② 事業収入				
		7,196,000	7,196,000	名張市より
		0	2,850,000	・観光案内所運営 2,850,000
		0	2,384,700	・観光庁需要分散事業 2,384,700
		3,300,000	500,000	・エコツアー協議会事務（未認識分含） 2,384,700
		1,900,000	0	・観光誘客推進（観光DX） △ 2,800,000
		661,100	661,100	・デジタルアーカイブ △ 1,900,000
		544,500	610,000	・名張駅前（西口）公衆便所管理
		297,000	0	・介護予防 65,500
		55,000	0	・Instagram △ 297,000
		2,152,290	6,200,000	・観光パンフ △ 55,000
		4,084,377	4,084,377	キャンプ場（ハイキングコース管理含） 4,047,710
		10,050	2,016,000	青蓮寺湖ぶどう組合支援
		1,307,932	1,307,932	旅行事業代理 2,005,950
		44,400	44,400	物販
				観光ボランティア育成
事業収入計	24,496,100	21,552,649	27,854,509	
事業活動収入合計	26,868,100	23,904,649	30,206,509	
2 事業活動支出				
① 管理費支出				
印刷製本費	30,000	73,031	73,031	
給料手当	2,805,000	5,469,160	5,469,160	
法定福利費	200,000	962,634	962,634	
広告宣伝費	0	30,800	30,800	
交際費	0	18,001	18,001	
会議費	0	17,897	17,897	
旅費交通費	0	449,310	249,310	（有識者招聘の減） △ 200,000
通信費	0	498,003	398,003	
消耗品費	320,000	35,750	35,750	
諸会費	220,000	171,900	171,900	
支払手数料	42,000	105,024	105,024	
車両費	0	141,888	10,000	（社用車車載機器の減） △ 131,888
地代家賃	303,200	84,000	348,000	（新事務所の増） 264,000
賃借料	0	20,742	20,742	
リース料	0	342,960	516,960	（社用車月数の増） 174,000
保険料	0	36,433	36,433	
租税公課	450,000	504,226	504,226	
支払報酬料	525,800	3,227,001	1,577,001	（事務職員負担額の減） △ 1,650,000
減価償却費	45,000	0	0	
管理費支出計	4,941,000	12,188,760	10,544,872	△ 1,543,888
② 事業費支出				
売上原価	7,710,000	3,311,881	3,311,881	
研修費	0	48,930	20,000	（資格取得等の減） △ 28,930
印刷製本費	270,000	361,664	161,664	（ガイドマップ印刷の減） △ 200,000
給料手当	9,185,480	4,315,251	4,722,051	（エコツアー協議会担当者の増） 406,800
法定福利費	2,300,000	412,041	412,041	
外注費	1,269,000	1,373,110	1,923,110	（観光庁事業外注費の増） 550,000
荷造運賃	0	11,343	0	（やしんぼセットの減） △ 11,343
広告宣伝費	30,000	377,183	377,183	
交際費	0	82,670	20,000	（クレーム対応の減） △ 62,670
会議費	0	11,700	11,700	
旅費交通費	500,000	191,773	196,773	（エコツアー協議会担当者の増） 5,000
通信費	347,200	441,136	441,136	
消耗品費	322,100	947,626	947,626	
修繕費	0	310,200	310,200	
水道光熱費	84,000	368,080	368,080	
諸会費	50,000	51,320	51,320	
支払手数料	0	299,230	299,230	
車両費	0	3,021	3,021	
地代家賃	3,288,000	1,405,600	1,405,600	
賃借料	0	1,940	1,940	
リース料	0	9,900	9,900	
保険料	30,000	31,475	31,475	
租税公課	0	19,020	19,020	
支払報酬料	0	3,203,665	3,203,665	
減価償却費	455,400	500,000	500,000	
雑費	36,000	0	0	
事業費支出計	25,877,180	18,089,759	18,748,616	658,857
経 常 費 用 計	30,818,180	30,278,519	29,293,488	△ 885,031
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,950,080	△ 6,373,870	913,021	885,031
当 期 経 常 増 減 額	△ 3,950,080	△ 6,373,870	913,021	885,031
2. 経常外増減の部				
経常外収益	0	178,284	13,111	（IT導入補助金の減） △ 161,640
経常外費用	0	29,816	29,816	
当期経常外増減額	0	148,468	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,950,080	△ 6,225,402	913,021	7,138,423
法人税、住民税、及び事業税	200,000	208,200	208,200	0
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	9,707,607	9,707,607	3,274,005	△ 6,433,602
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	5,557,527	3,274,005	3,978,826	704,821
II 正 味 財 産 期 末 残 高	5,557,527	3,274,005	3,978,826	704,821